

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年6月20日現在

概況 オレゴン州の2010年6月20日に終る1週間の気象は、驟雨を伴う季節外れの低温気象であった。降雨は前週より少なく、1週間の州平均農作業稼働日数は5.0日(前週：4.0日)となった。Willamette Valleyの1週間の降水量は0.08~0.72インチ、最高気温は68~70度Fであり、平均気温は平年を7~8度F下回った。カスケード山系の東のNC地区の最高気温は71~83度F(The Dalles)と幅があったが平均気温はThe Dallesを含め平年を7~10度F下回った。同地区の1週間の降水量は0.08~0.34インチであった。NC地区の観測所の9月1日からの積算降水量は平年の12~35%増であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、“Surplus”が減少し、“Short”が多少増えたが、例年より良い状態であった。冬小麦の生殖成長は昨年より多少遅れているが、96%が出穂しWillamette Valleyの小麦も一部登熟期に入った。春小麦の出穂も昨年より遅いが生育は順調であった。開花から登熟期に気温が低目で土壌水分が良いことより、澱粉蓄積には好条件となった。多雨はStripe rust(ムギ黄さび病)の発生原因となった。2010年6月1日付けUSDAの2010年産冬小麦の生産量予想では、オレゴン州の冬小麦の単位収量は5月1日予想より3.0 bushels増え62.0 bushels/acreであった。収穫予想面積も昨年より増えており、生産量は昨年より22%増の51,460,000 bushels(約140万トン)と予想された。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	1	6	61	32
Last week	1	3	64	32
Subsoil	1	11	63	25
Last week	1	10	66	23

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	96	80	99	97

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	7	24	49	19
Last week	1	6	21	57	15

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	4	20	50	26
Last week	0	4	20	48	28

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years.

2010年6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				May 1	June 1		
Oregon	750	830	56.0	59.0	62.0	42,000	51,460
USA	34,485	31,786	44.2	45.9	46.6	1,522,718	1,482,364

以上